

2023 年度
学校関係者評価報告書

2024 年 7 月

 学校法人八文字学園
水戸電子専門学校

◆2023 年度 学校関係者評価報告書

学校法人八文字学園水戸電子専門学校は、学校評価に関する関連法令等に基づき、学校関係者評価委員会を設置し、「2023 年度自己点検評価報告書」（2024 年 3 月作成）を基本にした学校関係者評価を実施しました。自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価をおこなっていただき、自己評価結果の客観性・透明性を高める努力をしています。並びに卒業生、関係業界、専修学校団体・職能団体・専門分野の関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁・自治体の関係部局と密接に関係する方々の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ります。

今後とも、この学校関係者評価の結果を踏まえ、学校関係者と連携・協力し、更なる教育の質の向上を図ってまいります。

1. 対象期間 2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

2. 学校関係者評価の項目（以下の 11 項目）

- (1) 教育理念・目的
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

3. 学校関係者評価委員

掛田 達也	一般社団法人 茨城県情報サービス産業協会 理事（卒業生）
大森 達也	アイ・イー・シー株式会社 取締役 ソフトウェア事業部 本部長
武井 篤	株式会社 新日東 営業部
坂 大樹	茨城県デザイン振興協議会 副会長
三瓶 哲也	J P C 株式会社 代表取締役
吉田 直輝	P C デポコーポレーション

八文字学園教員

渡辺 修身、相田 慎介、平松 浩幸、石田 秀郎、書記担当教員

4. 学校関係者評価について

- (1) 学校関係者評価報委員会の実施状況
 - 1) 学校関係者評価委員会実施日時・場所
日時：2024年3月22日（金）
場所：八文字学園 水戸看護福祉専門学校 3F 視聴覚室
 - 2) 学校関係者評価委員会 進行状況
 - ①事務連絡（挨拶、配布資料確認）
 - ②学校関係者評価全体説明
 - ③評価方法説明
 - ④学校関係者評価委員会開始
自己評価結果の解説とその評価・・・評価結果の判定（評価シート記入）
 - ・教育重点項目
 - ・教育理念・目的・育成人材等
 - ・学校運営
 - ・教育活動
 - ・学修成果
 - ・学生の募集と受入れ
 - ・財務
 - ・社会貢献
 - ・国際交流
 - 3) 学校関係者評価の総評と意見交換
 - 4) 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方
専修学校における学校評価ガイドライン』に則って、2023年度における「評価項目の達成及び取組状況」について、委員会では、委員により、自己評価報告書の内容及び、自己評価結果を理解していただいた上で、評価ポイント（適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）の4分法にて評価を行なっていただき、その理由や意見を「学校関係者評価委員会 評価記入シート」のコメント欄に記載しました。最後に、評価項目や学校・学科の改善に関する学校関係者委員の自由意見を聴取しました。1～11の項目評価は、委員の評価の平均値となります。
 - 5) 学校関係者評価報告書の見方
 - ①自己評価結果の結果集計
学校関係者評価委員6名が記述した評価記入シートより、評価基準の「適切」記入数、「不適切」記入数を集計しパーセント表示した。
 - ②委員コメント
評価記入シートの委員コメント欄に、学校関係者評価委員が直接記入したコメントを項目毎にまとめた。
 - ③分科会の意見
分科会で意見交換された内容や、具体的な学科に対する意見・改善提案を議事録「学校関係者評価委員会分野別分科会」にまとめた。

◆ 1 教育理念・目的**評価 3.75**

1. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
2. 学校における職業教育の特色を示しているか
3. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
4. 学校の理念・目的・育成人材像・将来構想などが学生・保護者に周知されているか
5. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
6. 各学科の基本方針、学習目標、資格の合格目標は達成されているか

<コメント>

- ・社会人として人間力の育成は不可欠であると考えている。
- ・実践的な職業教育を行う前提条件として、高資格が取得できる継続性のある計画立案が必要。
- ・理念に沿った教育が実行・提供されている。

◆ 2 学校運営**評価 3.40**

1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか
2. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
3. 運営組織や意識決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
4. 人事、給与に関する制度等は整備されているか
5. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか
6. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
7. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

<コメント>

- ・Work flow system の導入により、事務作業の簡略化が可能になっている。
- ・財務上、借り入れもなく健全経営されていると感じる。

◆ 3 教育活動**評価 3.55**

1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
2. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
3. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか

5. 関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
6. 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
7. 授業評価の実施・評価体制はあるか
8. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
9. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
10. 資格取得等の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
11. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
12. 関連分野における業界等と連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか
13. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や指導力育成など、教員の資質向上のための取組が行われているか
14. 職員の能力開発のための研修等が行われているか

<コメント>

- ・IoTやドローンなど積極的に新しい技術を実習として取り入れている努力が伺える。
- ・卒業研究の成果を公開（学内外、Webを含む）していることは評価できる。また、内容についても十分評価できる。
- ・学生の二極化について、学生のレベルや資質に対して丁寧に対応しているとの点については、学生個々に合わせた指導が適切に実行されていると感じました。
- ・時代に即したカリキュラムおよび施設の充実に一層努力願いたい。

◆ 4 学修成果

評価 3.60

1. 就職率の向上が図られているか
2. 資格取得率の向上が図られているか
3. 退学率の低減が図られているか
4. 卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか
5. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

<コメント>

- ・情報処理の国家試験対策については、午前免除制度を利用し十分な対策時間をとっているようなので、基本情報技術者の合格率向上がみられる。
- ・いろいろな学生が入学してくる現状は理解できる。前年度と比較し退学率の低減が図られていると感じる。

◆ 5 学生支援

評価 3.65

1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
2. 学生相談に関する体制は整備されているか
3. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか
6. 学生の生活環境への支援は行われているか
7. 保護者と適切に連携しているか
8. 卒業生への支援体制はあるか
9. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
10. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

<コメント>

- ・奨学金を利用する学生が増加しており、かなり高い比率となっている。
- ・日本学生支援機構の給付奨学生制度を利用する学生が増加してきている。利用の呼びかけを広く行って欲しい。
- ・学生の精神面に対応するべく、スクールカウンセラーの配置がなされている。積極的な活用を期待したい。

◆ 6 教育環境

評価 3.45

1. 施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
2. 学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか
3. 学生が自主的に学習するための環境が整備されているか
4. 防災、防犯に対する安全管理体制は整備されているか

<コメント>

- ・学校の教育設備、施設に関しては、定期的に機器等を確認し教育内容に沿って整えられています。
- ・新しい技術・メディアセンター施設・自習室や教育機器設備を導入してもらいたいので検討していただきたいです。
- ・災害時の心構え・命を守る行動など、定期的な防災訓練、被災時の水・食料の備蓄等も進めていただきたいです。
- ・新型コロナウイルス感染症に対応した、リモート環境（ムードル）が構築されていることは評価できる。コロナ終息後の活用を検討されたし。

◆ 7 学生の受け入れ募集 **評価 3.45**

1. 学生募集活動は、適正に行われているか
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
3. 学納金は妥当なものとなっているか中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

<コメント>

- ・学生の募集広報活動における内容や説明表現については、十分な注意を払うとともに、入学希望者に対して分かりやすく最新で、適切な判断材料が提供されるように配慮されています。
- ・オープンキャンパスやバス見学会、高校ガイダンスなど非常に多い回数を計上している。入学予定者数から鑑みて適切な対応により効果がうかがえる。
- ・学生減少化傾向の中、学生数が増加していることから、広報活動や教職員の努力がうかがえる。

◆ 8 財務 **評価 4.00**

1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
3. 財務について会計監査が適正に行われているか
4. 財務情報公開の体制整備はできているか

<コメント>

- ・財務諸表を拝見すると、現在、安定した財務基盤となっている。
- ・監査法人の監査や、内部監査が適正に行われており評価できる。

◆ 9 法令等の遵守 **評価 3.60**

1. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
2. 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか
3. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
4. 自己評価結果を公開しているか

<コメント>

- ・自己評価結果についても、適切に公開している。また、コンプライアンスについても十分に遵守されている。

◆10 社会貢献・地域貢献**評価 3.15**

1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
3. 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか

<コメント>

- ・奉仕の精神、道徳心を養うことを目的に学校周辺の清掃活動が定期的に実施されており、積極的に地域の良い環境づくりにかかわりを持っていただきたい。
- ・ボランティア活動は、学生が個別に実施しているようですが、組織的な取り組みを期待する。
- ・学校として各組織と連携したボランティア活動の構築を期待する。

◆11 国際交流

（・留学生の受け入れは、行っていないし、国際的に提携している学校也没有。）

◇学校関係者評価委員会 まとめ

総合評価 3.56 と【ほぼ適切】という評価を受けた。

学校関係者の評価の実施、公表により、適切に説明責任を果たすとともに、関係する企業、業界団体、卒業生、保護者、地域住民による理解と参画を得ながら、企業、業界団体、卒業生、保護者、地域住民の連携協力による学校づくりを進めていきます。

●教育課程編成・評価委員の方々からの質問ご意見

1. 卒業生が現在、頑張っております。初めての仕事で先輩に質問してくる点、とても感心している。やはり会話力及び傾聴力は必要だと感じるが、先生方がしっかりと指導しているからなのではないでしょうか？
⇒ベテラン教師の「コミュニケーション」科目、またグループ学習を通じて指導している。
来年度も求人出しますので、宜しくお願いしたい。
2. 前向きな意見を言える学生を求めています。今後もそのようなご指導宜しくお願い致します。
3. 検定合格者数、就職率共に先生方の授業以外の努力があつての数値ではないかと感じている。学生数が増えたことでレベル差がある学生についての指導が大変になるのでは。さらなる負担が増えることが心配。

4. 各学科の学生数の増加により、来年度の先生方への負担が大きくなるのではないかと感じている。
その対策は
⇒他校から異動、新たな教師採用での増員を実施。現在も募集中。また、来年度各教員の授業持ち時間の削減を模索している
5. 増員に伴う先生への負担は、授業数 15%削減だけではまだまだ大変だと感じている。健康にご注意ください。また、施設規模の観点から増員数に対しての対応は可能なのか？
⇒2号館の建屋だけでは不足。特に「実習室」が不足しているが学園内使用教室、実習室を追加し充実を図っている。
6. 学生の能力の低い部分は大学生も同様に感じている。これは時代だと思うが、育ちが影響しているのではと考える。この世代とのコミュニケーションはこれで良いのか。新たなコミュニケーションが生まれているのではないかと考える。

以上

学校法人八文字学園 水戸電子専門学校
〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-11-20
